

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



前里 光信 議員
まえさと こうしん

有者は特定されたか。

教育部長 旧西原村役場跡は西原町史第5巻「資料編」によると、行政や警察の会議を開く為の跡が各市町村に構築され、役場にあった重要な書類や公印などを保管する目的で造られた。跡には戸籍簿、土地台帳、名寄せ帳、図面、標石簿、公金出納簿、戦時債権、公印等を収納した金庫があり、戦後金庫から取り出し一部活用した。

■戦時の「役場跡」について

問 先の戦争の際、西原町は公的資料を戦争の被害から防ぐ為、当時「役場跡」と命名された今の給食センター隣の防空壕に保管したと聞いている。戦後、公的資料は持ち出されたと解すが、当時の住民票や土地等の所

人口減少の多い地域では学校自体が成り立たないという意見もあるが、県との調整が必要。住宅緩和地域について、県の動向を踏まえた形でマスタープランを策定しながら市街化に編入していきたいと考える。

■特別支援教育の実態について

問 4年前に西原南小学校へ行き現場視察をした。一人の先生が、1年生から6年生まで6名の生徒を教えていたが、現在はどうなっているか。

教育部長 法的には特別支援学級は担任一人で8人までとなっている。坂田小学校で8学級、西原小学校で7学級、西原東小学校で6学級、西原南小学校で6学級、西原中学校で5学級、

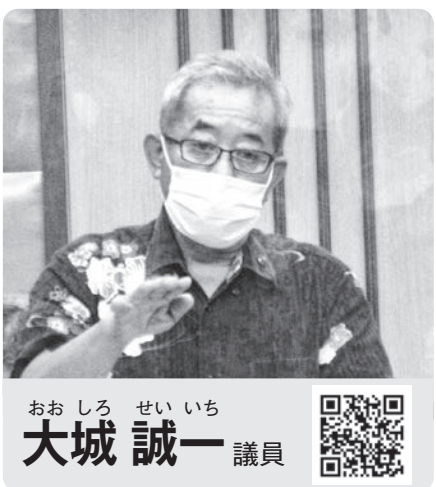


西原東中学校で6学級の特別支援学級が存在する。

その他の質問
○今も所有者不明の土地の実態について
○新型コロナウイルスの感染症について
○マイナンバーの活用方法
○公的建造物のアスベストの有無

■幼稚園を認定こども園に移行

問 令和五年度に坂田幼稚園を幼児連携型認定こども園に移行する。次の事業は実施されるか聞く①二年保育 ②延長保育や土曜日・長期休業期間の預かり保育 ③少人数学級編成及び特別支援教育 ④給食の提供 ⑤校区(園区)の取り扱い ⑥選任園長の



大城 誠一 議員
おおしろ せいいち

向けて取り組んでいく。

■徳佐田土地区画整理事業再開

問 徳佐田地域は西原町の玄関口となるサブ核を担う地区として町発展にとって重要な地区である。この取り組みは。

建設部長 現在、民間活力を利用

見直しとして開発地域として編入されれば、マスタープランと整合が取れるので事業化は可能。着手は早くて令和6年以降となる。

■薬物乱用防止に向けた取り組み

問 新聞に「大麻摘発10代過去最大」とあった。薬物乱用防止に向け

た取り組みは。

教育部長 中学校では、保健体育の保健分野で薬物についての授業が実施されている。県教育委員から積極的に専門家等による薬物乱用防止教室を開催することが求められており、本町においても県警察本部が主管する薬物乱用防止教室を中心に町内の小中学校も実施に向けて取り組んでいる。

その他の質問
○待機児童解消の取り組みについて
○保育士等就職奨励事業の取り組みについて
○兼久・安室線街路整備事業の進捗状況
○中学生海外短期事業の再開について

配置の幼児連携型認定こども園教育・保育要領の実践

町長 7つの事項に関しては、公私立連携法人において原則実施されるもの。

問 6割は正規として雇用し、それが大前提とのことだが、大丈夫か。

企画財政課主幹 県で示している6割という基準を満たすために、そこに

託業務の発注準備を進めており、令和4年度内で設計等を完了し、令和5年度以降から対策工事に着手していく予定である。

■西原西地区区画整理事業

問 施工者として人口や経済、町なみについてのビジョンは。

町長 マックスバリュ어가移動した後、県道沿いは商業用地になる。その一帯が開いてくることによって、街並みのイメージを実感させる必要がある。将来的な街並みを描けるパース的な何かを検討したい。

問 予算確保が一番大きな課題である。国、県への具体的な要請活動は。

町長 社会資本整備総合交付金へ

の移行を県と調整中である。また、借入れをして保留地を優先に工事を手がける方向も調整をしているが、基本的には国、県にいろんな形で要請をしていく。

■福祉教育で子どもたちの豊かな人間性を育む

問 地域共生社会の実現、地域福祉の推進には福祉教育は必要と考えるが。

教育部長 福祉教育は点数で評価できないが、共生社会に向けた人材育成には非常に重要な分野である。教育委員会は、社会福祉協議会及び関係課との協力を得ながら福祉教育を推進していく。

■シビックテックで地域課題の解決を

問 行政の持つ情報のオープンデータ化はシビックテックに欠かせない要素の一つである。推進には町のトップの理解がなければ進まないと考ええるが。

副町長 時代の流れでオープンデータ化はやっていかないとけない。官民連携による地域課題の解決や経済活性化を図るなど多方面で利益があると思う。リスクや運用、ルール化をきちんとしながら推進していく。

その他の質問
○国民健康保険特別会計について
○西原町職員定員適正化計画について



山城 勝貴 議員
やましろ たかつか

■町道棚原1号線について

問 昨年の議会で質問した際に令和4年度に国の認可申請を行い、交付決定後補助金事業による実施設計を予定していると答弁している。現在の進捗状況を伺う。

建設部長 現在、調査測量設計委

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。